

第6学年 算数 学習指導案

「面積・体積の公式と分数（帯分数×帯分数）」 大日本図書 P 39

<ICTの活用>

授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> ペア学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習
ICT活用の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input checked="" type="checkbox"/> 評価問題
ICT活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()
ICT活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 資料(問題等)の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で考える <input type="checkbox"/> GやPで交流する <input checked="" type="checkbox"/> 全体で交流する <input type="checkbox"/> 考えをまとめる <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 評価問題を解く <input type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンの作成
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 投影黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末 <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末 <input type="checkbox"/> その他
活用コンテンツ	◎SKYMENU Class (発表ノート)
ICT活用のポイント	○帯分数×帯分数の計算において、整数同士、分数同士の積を足しても答えを求めることができないことを、図を使って説明させる場面で有効である。

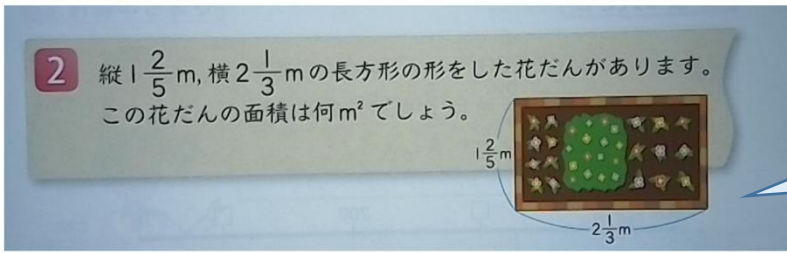
<ルーブリック(評価規準)…ゴール>

帯分数×帯分数の計算を、仮分数×仮分数にして計算をし、正しい答えを出すことができる。

<本時の目標>

帯分数×帯分数の計算は、整数同士、分数同士の積を足しても答えを求めることができないことに気づき、仮分数×仮分数にしてから計算する方法を見つけ出し、正確に求めることができる。

	主な学習活動	ICT活用のポイント	評価の観点
導入	○前時の復習をする。(長方形の面積は縦×横で求める) ○問題を提示する。 ○面積を求める式を考える。 ○前時の学習内容と本時の学習内容の違いを見つけ課題化する。		
展開	【課題】帯分数×帯分数の計算の仕方を考えよう		
	○帯分数×帯分数の計算の考え方で、整数同士、分数同士の積を足す方法を提示する。この考え方は面積を求めることができないことを考えさせる。 ○花壇の絵を、長さを記入した図で提示して考えさせる。 ○帯分数×帯分数の計算の方法を考える。 ○帯分数×帯分数を仮分数×仮分数にして計算することに気付く。	・発表ノートに示された図に、色のペンを使って、整数同士の積が示す面積、分数同士の積が示す面積に色を塗ることで、求められていない部分があることに気付かせる。	・整数同士の積と分数同士の積がどこの面積であるかを考えることができる。
まとめ	○学習のまとめをする。		
	【まとめ】帯分数×帯分数の計算は、仮分数×仮分数にして計算することができる。		
	○評価問題に取り組む。		・評価問題を求めることができる。



問題文の提示
面積を求める式を考える
前時の学習との違いから
課題づくりをする

面積を求める式を書きましょう。

課 帯分数×帯分数の計算の仕方を考えよう

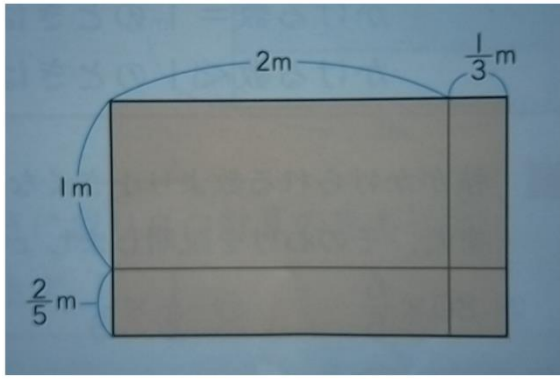
- ペン
- あ
- 消しゴム
- 素材
- 撮影
- 画面保存
- 教材・作品
- 資料置き場
- 発表ノート
- バーを小さく
- SKYMENU

$$1\frac{2}{5} \times 2\frac{1}{3} = 1 \times 2 + \frac{2}{5} \times \frac{1}{3}$$

$$= 2 + \frac{2}{15}$$

$$= 2\frac{2}{15}$$

この計算の仕方では花壇の面積を求めることができないことを、下の図を使って説明する。



- ペン
- あ
- 文字
- 消しゴム
- 素材
- 撮影
- 画面保存
- 教材・作品
- 資料置き場
- 発表ノート
- バーを小さく
- SKYMENU

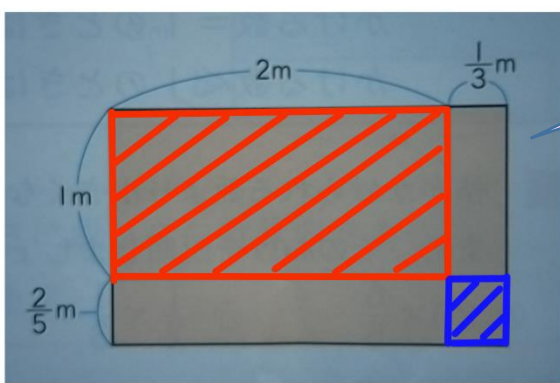
$$1\frac{2}{5} \times 2\frac{1}{3} = 1 \times 2 + \frac{2}{5} \times \frac{1}{3}$$

$$= 2 + \frac{2}{15}$$

$$= 2\frac{2}{15}$$

この式が表す面積に青色で示しましょう。

この式が表す面積に赤色で示しましょう。



この計算方法では、赤色の部分と青色の部分しか面積を求めることができないことに気づく。

- ペン
- あ
- 文字
- 消しゴム
- 素材
- 撮影
- 画面保存
- 教材・作品
- 資料置き場
- 発表ノート
- バーを小さく
- SKYMENU

$$1\frac{2}{5} \times 2\frac{1}{3} =$$



どのように計算すれば、正しく花壇全体の面積を求めることができるのか考える。

$$1\frac{2}{5} \times 2\frac{1}{3} = \frac{7}{5} \times \frac{7}{3}$$

$$= \frac{49}{15}$$

$$= 3\frac{4}{15}$$



帯分数を仮分数にして計算することに気づく。

③ ① $1\frac{1}{4} \times 2\frac{4}{5} =$



評価問題4問に取り組む。

答え